

新生 J R 東労組を破壊する者たちを許さず、 組合員の利益を守るためにたたかう千葉地本青年部見解

J R 東労組千葉地本青年部は、18 春闘で浮き彫りになった運動の誤りによって青年部員の信頼を失ったことを真摯に受け止め、18 春闘を「大敗北」と総括し、組合員と脱退を余儀なくされた仲間たちの信頼回復のために、組織強化・拡大の取り組みを推し進めてきた。特に労働組合の必要性や労働協約、団体交渉をはじめとした労働者の権利をあらゆる場を活用して訴え、新生 J R 東労組の確立に向けて奮闘してきたことにより、秋のたたかいで青年部員の組織拡大を実現してきた。

このように組織強化・拡大を実践している中、水戸・東京・八王子の一部の職場から「東労組に残るのか」「分裂組織に行くのか」「脱退するのか」という三択を青年部員に迫るといった事態が本部青年部へ報告され、分裂策動が行われていることが明らかになった。職場のリーダーである役員が、一部の役員の主張を貫くために分裂策動し、組合員の利益を奪い、不安を与える無責任極まりない組織破壊策動を絶対に許すことはできない。

この分裂策動を裏付けるように、J R 東労組青年部「第 3 4 回定期委員会」では、東京地本青年部が委員名簿や規約・規則をホームページに掲載したことによって、5 チャンネル掲示板に東京地本青年部以外の委員の氏名・年齢・職場名などの個人情報流出させる事態が発生した。当然にも定期委員会の質疑では、「何故、全世界に氏名を公開されなければならないのか」「組織破壊行為以外の何物でもない」等の発言があったが、過ちを認めないということなのか、未だに謝罪は行われていない。

20 春闘に関しても中央常任委員会で議論されることなく、東京地本青年部は「青年部 600 名の総意だ」と言い放ち、独自方針を勝手に打ち出し、12 地本の総団結を乱した。さらには、2020 年 1 月 24 日に開催された第 6 回中央常任委員会を水戸・東京・八王子地本青年部選出の中央常任委員が無断欠席し、中央常任委員会を不成立にさせるという事態まで発生させられた。青年部員の声を掴み、職場や組織現実を議論する重要な場を無断欠席するということは、青年部員の声を無視し青年部員を切り捨てる行為であり、もはや彼らに青年部員のことを語る資格はない。このような数々の言動や行動は、分裂組織破壊組合を立ち上げるために行われてきたと言わざるを得ない。

分裂策動に悩んでいる青年部員の皆さん、真実を語らず、嘘や偽りで新生 J R 東労組を組織破壊し、分裂策動を行う者は決して青年部員を守ることなど出来ない。J R 東労組千葉地本青年部は、分裂策動を行う組織破壊者とは一切決別し、組合員の利益を守り、「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実現するために、職場で苦悩している仲間寄り添い、地本間の壁を越えて共に歩いていくことを明らかにして見解とする。

2020 年 1 月 28 日
東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部青年部